

静岡大学の学生さんに聞いてみました。

静岡大学のPR

本学では、「子どもの心の成長をとらえよう」「豊かな感性と表現の追求」「子どもの思いを理解し、受け止め、育てる」をキャッチフレーズに、生活し遊ぶ子どもに対する深い洞察力・受容力、柔軟な指導力をもつ保護者の養成をめざしています。子どもの思いを受け止められる先生をめざしともに学びましょう。

学生さんより

Q1：アンケートに答えてくれた学生の学部、学年、性別

教育学部 幼児教育専修 4年 女性

Q2：保育士を目指そうと考えたきっかけは

高校では理系のクラスに進級しましたが、将来の職業について考えた時、自分の本当に好きなことがしたいと思い、幼いころの夢だった保育士を目指すことにしました。



Q3：保育士養成校を受験するのにあたって準備したことは

教育学部の中の学科だったため、特別な勉強はしませんでした。共通テストに向けて全教科を均等に勉強しました。

Q4：学校でどんな勉強をしていますか。

授業の中で、一から演目を考えて劇をつくったり、保育案を考えながら実際にその遊びをしたり、楽しみながら実践的な授業をしています。

Q5：授業や実習の中で苦労したこと、楽しかったことなど

実習では、実際に子どもと関わるため、子ども理解や対応の仕方、遊びの提案等とても難しく苦労しました。しかし、子どもたちの笑顔や小さな成長を見られる瞬間はとてもやりがいを感じ、うれしかったです。

Q6：最後に、これから保育士を目指す中高生に向けてメッセージをお願いします。

子どもと触れ合う実習やボランティアはとてもやりがいを感じて楽しいです。一緒に楽しく学んでみませんか。

